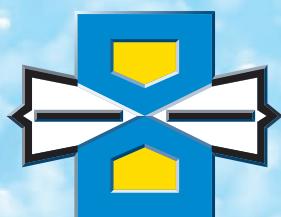


はちろうがた

令和7年4月1日発行

第163号



議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80 TEL 018-875-5810

3月定例会

中学校卒業式



目次

- 2~3 新議員の抱負／第1回・第2回臨時会
- 4~5 3月定例会
- 6~12 一般質問
- 13 3月定例会提出議案結果報告
- 14~15 各常任委員会／予算特別委員会
- 16 陳情／議会の動き／編集後記



新議員の抱負



副議長 小柳 聰

議会を牽引する役割を担い、行動と提言で町を前進させていく。



議長 柳田 裕平

議員の総力を結集して、町民から信頼される町議会を目指します。



京極 幸村

謙虚に誠実に行動力は加速して



加藤千代美

抱負
「町民の豊かな生活を創る」
座右の銘
「他者のために自己を磨く」



小野 千春

サーバント(仕える)リーダーとして議員の職務を全うする。



村井 智

町民生活の向上と安寧



松田真寿美

与えていただいた議席を大事にし、町民の声を町政に届けます。



伊藤 章

議席を与えられた責任を全うするため、初志貫徹精神で頑張る。



小林 韶騎

世のため人のために尽くすことが結果として自分の幸せにつながる。



野原 静雄

町民皆の「不便・不安を無くする」ために、皆で考え、行動する。



小柳 鉄秀

次の世代のため、住みよいまちづくりに取り組んでまいります。



畠山 一充

町民主体を念頭に奉仕と福祉の心で日々、努力いたします。

3月定例会

3月定例会、3月10日から19日までの10日間にわたり開かれました。
一般質問は6名、審議した議案は、補正予算関係7件、条例の改正14件、
計画の変更1件、財産の無償貸付1件、当初予算関係6件です。

令和7年度一般会計当初予算は可決 32億9,344万円(対前年度比 2億1,586万1千円の増)

歳出予算の主なものは

○電子計算費 (委託料・電算組合負担金等)	2億1,156万5千円 (+94,802千円)
○湖東厚生病院運営費補助金	2,633万4千円 (+8,673千円)
○ふるさと納税報償費	810万円 (+3,600千円)
○総合計画等策定関係費 (委員報酬、印刷製本、業務委託料等)	732万9千円 (+7,329千円)
○振り仮名等の通知書作成業務委託料	251万4千円 (+2,514千円)
○秋田県知事選挙費	197万6千円 (▲227千円)
○衆議院議員通常選挙費	451万8千円 (+4,518千円)
○地域福祉計画策定業務委託料	300万円 (+3,000千円)
○自立支援給付費 (障がい者)	1億9,000万1千円 (+23,868千円)
○児童手当	6,093万円 (+14,930千円)
○認定こども園バス運行費補助金	120万円 (+1,200千円)
○認定こども園おおぞら園舎光熱水費補助金	200万円 (+2,000千円)
○森林資源解析等業務委託料	886万6千円 (+8,866千円)
○まちづくり活動センター管理運営委託料	1,107万3千円 (▲1,377千円)
○Hachi LAB補助金	254万5千円 (+2,545千円)
○一日市盆踊り補助金	474万7千円 (▲1,498千円)
○田んぼアート事業費補助金	150万円 (▲700千円)
○若者イベント実行委員会補助金	140万円 (+100千円)
○おもしろ市場実行委員会補助金	95万円 (+150千円)
○可搬式排水ポンプ購入 (中型7台、小型4台他)	3,843万9千円 (+38,439千円)
○社会資本整備総合交付金事業 (町道除雪委託料)	3,119万4千円 (+11,298千円)
○ふれあいロード橋点検委託料	1,471万8千円 (+14,718千円)
○備品等廃棄処分業務委託料	682万9千円 (+6,829千円)
○第2町民体育館電力引込工事	222万7千円 (+2,227千円)

令和7年度特別会計等 議案可決

○令和7年度国民健康保険特別会計当初予算	6億8,895万6千円 (前年度比13,626千円増)
○令和7年度後期高齢者医療特別会計当初予算	9,763万1千円 (前年度比1,507千円増)
○令和7年度介護保険特別会計当初予算	9億8,021万2千円 (前年度比10,675千円増)
○令和7年度水道事業会計当初予算 (収益的収入)	1億3,992万円 (前年度比4,073千円減)
(資本的収入)	3,816万4千円 (前年度比7,036千円減)
○令和7年度公共下水道事業会計当初予算 (収益的収入)	2億1,040万1千円 (前年度比17,204千円減)
(資本的収入)	1億1,159万5千円 (前年度比372千円減)

令和6年度補正予算等7議案可決

○一般会計補正予算	1億7,009万円追加
歳出予算の主なものは	
●積立金 (総務管理費)	273,953千円
●秋田県町村電算システム共同事業組合負担金	▲21,445千円
●扶助費 (医療給付費)	▲14,600千円
●社会資本整備総合交付金事業	▲12,013千円
○令和6年度国民健康保険特別会計補正予算	3,509万4千円追加
○令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算	153万8千円減額
○令和6年度介護保険特別会計補正予算 保険事業勘定	1,275万8千円追加
○令和6年度水道事業会計補正予算 (収益的支出)	608万8千円減額
(資本的収入)	520万円減額
○令和6年度公共下水道事業会計補正予算 (収益的収入)	765万7千円追加
(資本的収入)	44万7千円減額

議案25号 反対討論**小林 韶騎**

行政の特徴として前例を重視する傾向があります。そのことから、今回これらの土地を無償で貸付することで、前例を作ってしまいます。行政は土地あるいは建物を無償で貸してくれるという前例ができてしまえば、別の事業者からお頼いされた際、どう断るんでしょうか。現在、旧小学校の校舎使用の件で話し合いがされてるかと思いますが、無償で貸してくださいという話になりかねません。不利な前例を作らないでいただきたいと思います。以上のことより私は反対討論させて頂きました。議員の皆様。この議案についての自分の身の振り方。住民の皆様にどのように説明するのか。よくよくお考えの上、ご判断いただきますようよろしくお願ひ申し上げます。以上です。

議案25号 反対討論**小野 千春**

町で検討している脱炭素事業を進めるうえで25号は先を見据え政策的に必要と同意し賛成でした。しかし3月18日の町の説明の中で脱炭素事業自体やらない事もあるとの答弁があり他課の事業充実（ふるさと納税充実の施策づくり、要保護・準要保護児童の教育機会、均等のための上乗せ費用等）にあてられる可能性もあるゆえ今年このタイミングで無償化する事を再検討いただきたく反対討論いたしました。

議案25号 反対討論**村井 智**

目的については賛同する。しかし町条例（財産の交換・無償貸付等に関する条例）は国・県を貸付対象と想定された条文であり、今回の解釈には無理がある。よってルールを規定した上で実行するべきである。今後同様の事案が惹起した場合を考慮すべきだ。

議案26号 反対討論**小林 韶騎**

26号に賛成することは、はちらほの予算にも賛成するということです。その点みなさまよろしいでしょうか。いったい町民のみなさまにどのように説明するのでしょうか。全く反対というわけではなくもう一度考え直しましょう。1,100万円をかけるのは本当に適正でしょうか。他にやりようがあるはずです。みんなで方策を探りませんか。役場側も立場上引くに引けない状況です。私たち議員がかえないといけないのです。議員になった初心を思い出してください。よろしくお願ひします。

議案25号 反対討論**加藤千代美**

議案第25号、財産の無償貸付について反対討論を行います。

今、無償貸付しようとする宅地（土地）は1937～1940年に構築された八郎潟カントリーのことであると思うが（構築された年については農協職員の記憶によるものである）この施設は農家の米の収集、集荷の業務を主体として設立されたものと理解している。その上で、農家の米の供出に大いに貢献している施設でもある。また、穀を穀摺する際に出る穀殻は農地を肥大化していく上でとても重要な役割を果たし、農地の転用するとても大きな役割をなし、農家にとって非常にありがたい施設として今日まで貢献している事実がある。この施設を構築するにあたっては、当時のことはよく理解できないが、行政と農協が十分に話し合いを行い農協が借り受ける際に借地金を払ってまで構築されたのは、相方にメリットがあった為と思う。現に、今でもなんの支障もなく運営されている施設を無償で貸付することについては理解できないので反対いたします。むしろ、ウクライナの戦争によって、麦、大豆等が不足する現状で国、県が押し進める施設設備の充実を図る資金を補助し、麦、大豆の収集、出荷を図ることが肝要かと思うと同時に、町の産業振興に大きな影響を及ぼすものと考え反対の討論と致します。

議案26号 反対討論**京極 幸村**

一般会計予算については反対の立場から討論いたします。まず初めに当初予算が否定となった場合でも必ずしも全ての事業が停止するわけではありません。予算においては、まちづくり活動センターの管理委託運営費について見直す時期に入っています。委託料の積算についても、町民の血税を投入していることを考えればより詰めるべきです。一般会計予算について反対いたしますので、ご同意賜りますようお願ひいたします。

議案26号 賛成討論**畠山 一充**

一般会計予算総額（案）32億9,344万円であります。これをストップすることは、行政サービス事業及び職員の生活に支障をきたし、町民生活にも混乱を招くことになります。予算特別委員会では、各委員から課題、要望、意見について発言し、議論されたと思います。担当課でも重く受け止め、行政運営を進めるものと確信しております。私の賛成討論です。

**■議長交際費の支出状況（1月～3月）**

◎議長が交際費に要した経費の概要をお知らせします。

分 類	件数	金額（円）	内 訳
その他	3	11,213	湖東3町商工会賀詞交歓会・スポーツ協会表彰式・婦人会総会
計	3	11,213	



◆質問者

村井 智 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、町内排水が農業施設による町長の所見
- 2、農業者数と平均年齢、今後の農業政策について
- 3、企業誘致の状況と方向性について

野原 静雄 議員 (一問一答)

- 1、喫緊の課題について
- 2、課題の解消について

伊藤 章 議員 (一問一答)

- 1、令和7年度の「町民主役」のまちづくりについて
- 2、災害に関する避難情報の共有化及び一時避難場所の環境調査について
- 3、買物弱者や移動困難者の把握について

松田真寿美 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、高齢者の集いの場について
- 2、健康を維持するための食生活について

小柳 鉄秀 議員 (一括質問一括答弁)

- 1、「あいさつ運動の小さな一歩から」人口減少対策を

小柳 聰 議員 (一問一答)

- 1、物価高騰対策について
- 2、LINEアプリの運用状況は



一般質問とは

一括質問一括答弁方式の場合、質疑は特別な場合を除き3回を超えることができない。一問一答方式の場合はこの規定は適用しない。また、延会、中止、又は休憩のため発言が中断したときは、会議の再開により前の発言を続けることができる。

一 般 質 問

八郎潟町の地理的構造と農業について



村井 智
議員

八郎潟町には馬場目川に注ぐ河川はない。概ね、雨水の排水は国道7号線から東は戸村土地改良区の排水路により三種川（東部承水路）に注ぐ。7号線から西は八郎潟土地改良区の排水路により同土地改良区が委託管理する排水ポンプで同じく三種川に排水する。我が町の農業は町の必要不可欠の役割も担っていることを強調し、共通認識としたい。

ちなみに戸村土地改良区の名前にある「戸村」とは地名ではない。佐竹藩が常陸国から秋田の地に転封数年後、藩命により戸村という藩士が新田開発したことが名前の由来である。また八郎潟土地改良区は八郎潟干拓事業の国家プロジェクトの一環で立ち上がっている。

町長 本町の重要なインフラである排水路は概ね上

農業者の現状と
今後について

問 両土地改良区の構成員である農家は高齢化と後継者不在故、ほんの数年後には大きな変換点を迎えることが容易に想定出来る。前述の通り町の排水は両土地改良区に管理運営がなされており、農業の衰退は町の構造に直結する問題となる。隣の大潟村でも毎年離農者が発生しており、耕作放棄地こそは発生していないが問題が持ち上がっている。苗の生育団地の価格高騰である。売買価格の実勢は一反歩あたり500万円以上だそうだ。從来農法では営農面積の増加は育苗地の拡大が必要であるためである。そこで解決策としてJJA大潟村組合長みずから取り

り春作業の軽減効果は大変大きい。しかしこの農法に必要である収穫後秋の代掻きは大潟村では象潟町と違い用水の確保を雨水に頼っているためこのままでは普及が困難であろう。実は当町は用水確保について、現状での対応はかなりの面積で可能がある。今のうちから取り組んでみてはどうか。

問 当町周辺域でも従業員確保が困難だ、との悲鳴に近い声が上がっておりまます。能代市に誘致した中国製材（株）が未だに従業員の充足に至っていないことを考慮するに、企業の誘致はよほど考えて行わなければと憂慮している。そこで、企業の卵を誘致することを提案する。合わせて町内の課題解決を図る目的である。一例を述べる。高齢化や諸問題により交通弱者の問題が深刻化している。交通弱者は買い物弱者であり通院弱者でもあり町民の生活に直結している。先日国際教養大学の学生さんが大変興味深いビジネスを提案している。キヤンバスまでの送り迎えをビジネスにする、ということである。このエンジンスを本町に適応した事業を、本町のふるさと納税を活用し起業しても

打つていいける。町は一定の株式を所有した上でスタートアップ時の苦しい時期を地域協力隊で支援するなり、確実な収益となる通学を担つてもらうなどのインセンティブを提供する。結果町民生活が向上すれば目的を達成することができる。これは一例である。

記の通りであり、上記を鑑み八郎潟土地改良区には三個所の排水機場に係

組んでいるのが「乾田直播栽培農業」である。

また脱炭素化の事業により冬場の農業に向けて取り組んでいきたい。

らう、との提案である。
交通弱者問題は都市圏を
除く日本全国の問題であ



野原 静雄
議員

課題解決のためのマンパワーと財源を生み出すために(要点抜粋)

問 人口減少と高齢化による弊害はたくさんあるが、その中から喫緊の課題について、共有化したい。高齢化の問題は、当事者の命に係わる問題。2021年の高齢者世帯調査では221世帯の訪問調査で約90世帯が支援を必要としている。農業従事者の高齢化による耕作放棄地の増加も大きな問題。この2件について、町長のお考えは?

町長 高齢者が安心して生活するためには、安心感、日常的な家事、交通手段、友人・知人との交流サービスが必要。これについて、関係団体などと協力し、日常生活ニーズ、高齢者実態調査、アンケート調査を参考に高齢者の支援ニーズを把握して新たな生活支援サービスを整備する。

問 人口減少と高齢化による弊害はたくさんあるが、その中から喫緊の課題について、共有化したい。高齢化の問題は、当事者の命に係わる問題。2021年の高齢者世帯調査では221世帯の訪問調査で約90世帯が支援を必要としている。農業従事者の高齢化による耕作放棄地の増加も大きな問題。この2件について、町長のお考えは?

課題の解消について

問 課題解消のためには、実施する前提となる「人」と「財源」の確保が必要。マンパワーの確保について、八郎潟町の「極めて高い町民の連帯感」の地域文化を活かして「互助」の体制を強化して地域課題を解決していく。特に、高齢者や弱者の福祉につなげる事が重要と考える。そのため

人化への取り組みはとても重要。農業法人は、経営面積の拡大や集約化、農産物の生産、加工、流通、その他農業機械の導入、施設の整備等、法人のみならず担い手農家を支えるため、国や県の補助金等を活用し、農業機械や設備にかかる支援を更に進めていく。

問 財源を産み出すということについては、国・県の支援事業を積極的に活用する。

内閣府の「小さな拠点」施策は、郊外集落に買い物場を作り、生活の不便を解消し、地域コミュニティの場を提供する。郊外集落の所得を向上させる。中心市街地と郊外集落に交通アクセスを整備する。また、買い物支援、声掛け・見回りなどが提案されている。必須条件は、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に行き、実践する地域運営組織が提案されている。必須

条件は、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に行き、実践する地域運営組織を作ることがだが、八郎潟にはその原型となる組織がある。今後、議会、行政がこうした団体を活用して共に汗を流して前に進めたい。

内閣府の「小さな拠点」施策は、郊外集落に買い物場を作り、生活の不便を解消し、地域コミュニティの場を提供する。郊外集落の所得を向上させる。中心市街地と郊外集落に交通アクセスを整備する。また、買い物支援、声掛け・見回りなど

が提案されている。必須条件は、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に行き、実践する地域運営組織を作ることがだが、八郎潟にはその原型となる組織がある。今後、議会、行政がこうした団体を活用して共に汗を流して前に進めたい。

次に、町外へ委託している業務を町内で対応すること。ふるさと納税返

り得が向上すると考える。ユニティの利点を生かし、今後、引き続きその中心的役割を担う町内会をはじめ、各種住民団体の活性化支援を図り、町民自らの手でまちづくりを推進する町民主役のまちづくりを目指していく。

内閣府の「小さな拠点」施策は、郊外集落に買い物場を作り、生活の不便を解消し、地域コミュニティの場を提供する。郊外集落の所得を向上させる。中心市街地と郊外集落に交通アクセスを整備する。また、買い物支援、声掛け・見回りなど



内閣府の「小さな拠点」施策は、郊外集落に買い物場を作り、生活の不便を解消し、地域コミュニティの場を提供する。郊外集落の所得を向上させる。中心市街地と郊外集落に交通アクセスを整備する。また、買い物支援、声掛け・見回りなど

が提案されている。必須条件は、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に行き、実践する地域運営組織を作ることがだが、八郎潟にはその原型となる組織がある。今後、議会、行政がこうした団体を活用して共に汗を流して前に進めたい。

内閣府の「小さな拠点」施策は、郊外集落に買い物場を作り、生活の不便を解消し、地域コミュニティの場を提供する。郊外集落の所得を向上させる。中心市街地と郊外集落に交通アクセスを整備する。また、買い物支援、声掛け・見回りなど

が提案されている。必須条件は、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に行き、実践する地域運営組織を作ることがだが、八郎潟にはその原型となる組織がある。今後、議会、行政がこうした団体を活用して共に汗を流して前に進めたい。

般質問

令和7年度の「町民主役」のまちづくりについて



伊藤 章 議員

問 少子高齢化、核家族化や人口減少などが進む中、町民の生活課題や価値観が多様化し、地域住民同士の交流機会の減少連帯感の希薄化もみられます。しかし、行政は町民個々の要望（ニーズ）に応じた公共サービスが求められますが、行政がそれを実現するための財源、職員などの資源については、限界があると思思います。そこで、本町は「第6次八郎潟町総合計画」（後期基本計画）を策定しておりますが、その中の1「基本方針」に「地域コミュニティの中心的な存在である各町内会などの活性化を図るとともに、町民、企業などと連携協働し、町民自らの手でまちづくりを推進する「町民主役」のまちづくりを目指す」とあるが、令和7年度の施策はどのように計画されてい

災害に関する避難情報の共有化及び一時的避難場所の環境調査について

継続して支援することとします。また、地元企業との連携協働については脱炭素事業に着手し旧小学校を利活用した新事業による地域産業の活性化を推進していく予定です。

町長 これまでの活性化支援の取り組みとし、町内会では、町内会連絡事務協力金助成、地域活性化助成会、地域除排雪助成金等、一般コミュニティ助成があります。また20を超える各種団体が運営するイベントや盆踊りスポーツや文化芸能などの活動に対し、年間1,300円程度の助成を行

へ不安を抱えたまま避難されたと思います。そこで、1点目は高齢者、障害のある方、移動困難者及び災害時要援護者に対し、町内会、消防団、民生児童委員及び地域福祉協力員等が対応しておりますが、災害時の避難者情報は、地域で共有化されているのか。また、その仕組みはあるのか。2点目は、水害発生時期は暑い季節のため、避難施設に冷房設備がない環境の中で、精神的不安を抱きながら避難した町民も見受けられました「指定緊急避難場所」の施設の環境調査等を実施しておりますか。

問　スーパーの閉店や商店街の衰退など、流通機能や交通網の弱体化が原因で、高齢者等を中心とした飲食品の購入や通院に、不便や苦労を感じている買い物弱者や移動困難者を把握していますか。

がない施設は9施設であります。また、防災センターの2階トイレが和式になつており、避難した高齢者から大変不便だつたとのことから、令和7年度当初予算に洋式工事費を計上しております。

登録状況は災害時要援護者が34名、災害時要援護者支援者が72名となっています。また、町の「指定緊急避難場所」の状況については、緊急的に避難する場所として14ヶ所、施設として36施設となっております。施設の環境状況については、冷房設備が整っている施設（一部冷房設備あるものも含

なっています。この結果だけを見ますと9割弱の方が食事に困っていないと読み取れます。背景には福祉・民間配食サービスなどが要因と考えています。また、移動困難者に対する支援サービスとしてタクシーや利用券交付事業と介護タクシーや利用料補助事業を実施しています。

を取つてみますと、「困つていない人」が 87・2 %、「食料品の買ひ物に困つている」が 1・1 %、「調理に困つている」が 0・3 %、「買い物、調理の両方に困つている」が 1・2 %、「未回答」が 0・2 % という結果となつた。

町長 買物弱者や移動困難者の実態調査は行つていませんが、民生児童委員の方々が、年1回「高齢者実態調査」を実施しております。この調査は65歳以上の方を対象に、担当区域毎に個別訪問して、高齢者の基礎情報（居住実態や世帯・身体・食事状況）を令和5年10月1日現在、2、352名から回答を得てお

一 般 質 問

高齢者の集いの場について



松田真寿美 議員

町長　老人憩いの家は安らぎと憩いの場として、また火曜日・木曜日には心身の健康の増進を目的にお風呂を利用しています。来年度は夜叉袋地区の住民を対象に「弁天荘」で「かだっこサロン」を開催する予定です。高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を行うために高齢者保健事業と介護予防の一體的な実施を行うものです。

次期福祉計画に向けて
令和7年度の施策を期待
します。

町長 南秋福祉会の事業
なので直接的に町が関与
することはありません。
協力依頼があつた場合、
PRなどできる範囲で協
力する考えです。「はち
らぼハウス」が経営して

問 口コナ禍前は高齢者
向けの介護予防教室等は
送迎があることで、気軽に
に参加し楽しまれています
した。送迎をしなくなつ
た理由とシルバー人材に
依頼とかタクシー会社と
の連携などの方法はない
ものか。また、現在行わ
れている介護予防教室等
の事業は継続するのか新

ナ禍の影響や委託先の担当職員の移動等の理由もあり、令和3年度から委託を取りやめています。

今後、介護予防教室に参加する方で送迎を希望する方には、町職員が送迎を行いますので外部団体や企業に依頼する予定はありません。令和7年度は運動能力の低下予防の

問 高齢者の方々から生鮮食品に困っているとの話を聞きます。4月中に「まちづくり活動センター」で「つくし苑」さんが「どんぶりころころ」の名称で、弁当や惣菜や野菜等の販売を始めることで、町当局としてのかかわり方をお聞かせください。まちづくり活動センターの立地場所的に、面潟地区の特に移動

「じんぶりじんぶり」の今後の動向を見守りながら、随時発信したいと思います。

いた当時の配達は令和3年度3,128件・4年度2,963件・5年度1,978件、送迎は令和3年度73人・4年度70人・5年度48人となつてます。利用者からは「買い物ができないため助かつていてる」「配達していただき感謝していくる」「会合の場所への配達はありがたい」などの声があつたと伺つています。



一般質問

「あいさつ運動の小さな一歩から」人口減少対策を



小柳 鉄秀
議員

■ **問** 八郎潟町の人口は1965年（昭和40年）国勢調査の8,379人をピークに、2025年（令和7年）2月1日現在では5,161人までに減少している。この数字から見ても、町の命である人口減少対策が急務と考える。あいさつ運動を行うことで家庭、学校、地域など人と人、社会全体のつながりや信頼関係を深めるとともに、助け合いの心を育てることができると思う。このあいさつ運動で犯罪のない安心して暮らせる・子育てができる環境を生みだし八郎潟町に住んでいてよかつた、住んでみたいと考えるかもしれない。少子高齢化や人口減少、伝統文化の継承など様々な地域課題を克服するためには、実践できるあいさつ運動で町の良さをアピールす

ることこそが最も重要なと考える。あいさつ運動を推進していく目的とその効果として、1つは、人との良い元気なあいさつと人とのつながり。気持ちの良い元気なあいさつを交わす環境をつくることで、人と人とのつながりを深め、住みよいまちづくりにつながる。また、豊かな人間関係と思いやりのある心を醸成し、自分の住むまちに対する深い愛情をはぐくむことができる。2つ目は、防犯・防災の強み。人ととのつながりを深められ、子どもたちの登下校時や、生活の安全を守る効果が期待できる。また、災害時の連携・協力体制の向上にも貢献できる。3つ目は、おもてなしの心。子どもたちの登下校時や、学校を通して、児童・生徒があいさつ運動を励行することで、地域住民にも自然に波及していくのではないか。

■ **教育長** 例えば、八郎潟小学校では、昔からいろいろな形でのあいさつ運動に取り組んでおり、現在は児童会の自主的活動として、朝、学校の玄関前で登校してくる児童生徒に元気に挨拶をする活動を関係機関との連携により定期的に行っている。

■ **再質問** 町では、令和7年度に第7次八郎潟町総合計画を策定するにあたり、これまで以上に知恵を出し合い、素晴らしいまちづくりのため事業の展開をお願いする。「小さなあいさつ運動」をするところからはじめないと、この町はよくならないと思う。人と人の繋がりが大事であるので「社会教育は人づくり」の観点から社会教育でやつていただきたい。スローガンについては募集する

できるものを作りあげていただきたい。教育課でできぬいか。そのため、中・長期的視野に立つて、多くの人の協力を得ながら学校や地域、任意団体等による地道な運動を効果的に励行するには中々ハードルが高いと思う。住民への意識啓発を促すための広報活動、スローガンの設定などが考えられるが、あまり効果がないと思う。ただ、学校を通して、児童・生徒があいさつ運動を励行することでも、地域住民にも自然に波及していくのではないか。

■ **教育長** 学校教育ではこの後も、あいさつを重点として啓発を進めていく。それに並行して、社会教育の方でも足並みをそろえて進めていけければ効果があると思う。スローガンについては、庁舎内でも検討して実施するか否か考えていただきたい。



・一般質問

物価高騰対策は



小柳 聰
議員

物価高騰の波が止まりません。エネルギー価格の高騰も過ぎ去つてないが、米価や生鮮食品の高騰の話題が先行するぐらいい、多くの分野で値上げラッシュが起っています。町としても国の総合経済対策に基づき住民税非課税世帯に対し3万円の給付、同じく非課税世帯に灯油購入助成費として6千円を助成する措置また全町民に商品券1万円の配布を決定しております。

世帯への支援は国の指針もあり支援が手厚くなっている。条件により該当になる場合もあるが住民税の均等割りのみの世帯やひとり親世帯など、非課税というくくりの中で救済されない層もある。そういう層を探す努力もしてほしい。

問 行き届かない層に対し総合経済対策の枠を独自に広げる、または町単独でも助成を検討してほしい

町長 住民税均等割りのみ課税世帯に対する支援は今年度の物価高騰支援給付金において一世帯あたり10万円を、またその内18歳以下の児童がいる場合は該当児童一人あたり5万円を支給していくまです。ただしひとり親世帯に対する支援はこれまで支給した実績はありません。低所得世帯を下支えするため、あくまでも所

券事業においては物価高騰の影響を受けている住民や事業者の支援、地域経済の活性化を目的として所得制限を設げずに今町民を対象にこれまで8回に渡つて実施しております。この事業の町単独費の持ち出しは約4,900万円、総事業費の13%以上に上つております。

度と連続して給食費の引き上げを行いました。しかし近頃の米、野菜、加工食品、調味料等の価格が高騰により現行価格で予定通りの献立では赤字になることが判明したため、献立の変更を余儀なくされるなど学校も対応に大変苦慮しております。令和7年度には物価の高止まりを視野に入れ余裕を見た値上げ幅を設定し、小学校330円・中学校400円として当初予算に計上しています。これは周辺市町村より高い設定となり、これにより栄養価の基準を満たした学校給食が可能になると共に担当者の創意工夫や児童生徒の希望等も多少は取り入れられると考えております。

ある日の小学校給食例

きい住民税非課税世帯に
対して秋田県と協調し灯
油購入費を助成し、低所
得者の生活持続の一助に
なつていると考える。

得に応じた給付対象が相
底にあるからだと考えま
す。地方創生臨時交付全
額については交付対象額を
上回る事業費は町単独事
業費として実施するこ

問 給食単価を適正に引き上げるべきではないか
教育長 学校給食も物資供給の一環

対してどのような苦労があつたのか

令和7年 八郎潟町議会3月定例会

提出議案結果報告

議案番号	審議案件	結果
議案第3号	令和6年度八郎潟町一般会計補正予算（第9号）について	賛成多数可決 反対：加藤千代美
議案第4号	令和6年度八郎潟町一般会計補正予算（第10号）について	全員賛成可決
議案第5号	令和6年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第6号	令和6年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成可決
議案第7号	令和6年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第4号）について	全員賛成可決
議案第8号	令和6年度八郎潟町水道事業会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第9号	令和6年度八郎潟町公共下水道事業会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第10号	八郎潟町表彰条例の全部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第11号	八郎潟町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第12号	職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第13号	八郎潟町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第14号	八郎潟町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第15号	八郎潟町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第16号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第17号	八郎潟町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第18号	文化財審議委員会設置条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第19号	八郎潟町文化財保護条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第20号	八郎潟町オリンピック記念会館町民健康トレーニングセンター条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第21号	八郎潟町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第22号	八郎潟町下水道条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第23号	八郎潟町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第24号	八郎潟町過疎地域持続的発展計画の変更について	全員賛成可決
議案第25号	財産の無償貸付について	賛成多数可決 (反対：加藤千代美、京極幸村、村井智、小野千春、小林響騎)
議案第26号	令和7年度八郎潟町一般会計予算について	賛成多数可決 (反対：加藤千代美、京極幸村、村井智、小林響騎)
議案第27号	令和7年度八郎潟町国民健康保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第28号	令和7年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計予算について	全員賛成可決
議案第29号	令和7年度八郎潟町介護保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第30号	令和7年度八郎潟町水道事業会計予算について	全員賛成可決
議案第31号	令和7年度八郎潟町公共下水道事業会計予算について	全員賛成可決

各常任委員会の報告

総務産業常任委員会

◆一般会計補正予算 (第10号)

問 財産の無償貸付
(貸付をする財産は、あきた湖東農業協同組合代表理事組合に対して面積6,154m²。八郎潟町大豆刈取集団に対して面積238m²。令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間。) これまでの貸付金額は幾らであったか。

問 財産の無償貸付
(貸付をする財産は、あきた湖東農業協同組合代表理事組合に対して面積6,154m²。八郎潟町大豆刈取集団に対して面積238m²。令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間。) これまでの貸付金額は幾らであったか。

問 森林経営管理計画現況調査委託料の減額理由は何か。

答 令和6年度に県で実施した航空レーザー測量のデータを活用することで、現地確認が不要になる等、事務の省力化が図られることから減額したものである。

問 財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例では、公共団体は公益事業の用に供するときは、議会の議決を得ずして無償貸付付けることができるとされています。農協は、公共的な活動を営む産業経游の公共団体であります。また、カントリーエレベーターは公益事業にあたります。ただし、これらのことについては、個々によつては解釈が異なる懸念があつたことや有償から無償への転換となることから、議会へ説明したうえで、進めていくことから議案を提出したものです。

◆陳情 最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書

・最低賃金を大幅に引き上げるということは、賃金に見合わない労働者は切り捨てられることに繋がるので危ないと思う。

・毎年陳情されるが、中

問 町の条例は、そもそもどのようなものを想定してはいたか。

答 これまでの貸付金額もどのようないものを想定してはいたか。



問 空き家等解体費補助金を減額補正しているが、多くの空き家があると思うが、実態調査は実施しているのか。

答 令和6年度は申請の申し込みがないので減額

◆条例関係議案

問 国の法律の規定に基づき、八郎潟町災害弔慰金等支給審査委員会を設置することになるが、災害が発生しなければ招集



答 農協部分については年間177万円弱、大豆刈り取り部分については年間1万8千円ほどである。

問 無償にするには理由があるのか。

答 財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例では、公共団体は公益事業の用に供するときは、議会の議決を得ずして無償貸付付けることができるとされています。農協は、公共的な活動を営む産業経游の公共団体であります。また、カントリーエレベーターは公益事業にあたります。ただし、これらのことについては、個々によつては解釈が異なる懸念があつたことや有償から無償への転換となることから、議会へ説明したうえで、進めていくことから議案を提出したものです。

◆陳情 最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書

・最低賃金を大幅に引き上げるということは、賃金に見合わない労働者は切り捨てられるに繋がるので危ないと思う。

・毎年陳情されるが、中

問 老人福祉センター管理運営委託料にスチームコンペクションの購入費を、町から半額負担するとあるが、町が半額負担する取り決めなどはあるのか。

答 老人福祉センターは、町の所有物であり、社会福祉協議会から運営管理をしていただいているます。また、介護事業所として運用もしておりますので、協議の結果、半額は社会福祉協議会で負担いたします。

問 町民第2体育館の照明の調査に伴い、照明増設する考えはないのか。

答 将来的にはLED化する必要があるが、調査結果を踏まえて検討する。

補正しました。また、この補助金の対象になる危険空き家の実態調査は実施しておりません。近隣の住民から連絡を受け、所有者へ対処していただくよう通知等しています。

問 「八郎潟町オリンピック記念会館町民健康トレーニングセンター」の名称は変更しなければならないのか。

答 オリンピックに関する名称は国際オリンピック委員会（IOC）が保有する知的財産のため、令和7年4月1日から施設名を「八郎潟町アスリートメモリアルセンター」に変更する。

答 災害関連死に該当するかの審査する委員会なので、災害後に招集する。

問 「八郎潟町オリンピ

予算特別委員会云審議哉

健康福祉課関係

答 子ども・子育て支援事業計画策定の中でアンケート等をした結果、親の急な用事で子どもを預ける場所がないため、この事業を整備してほしいという意見が4割程ありました。ニーズがあると判断しております。預けたい人はおりますが、受け手の人材整備をしてから実施したいと考えております。

にかかる費用を負担する
助成事業も行つております。
令和7年度につきましては、辛うじて人材の
確保は行えている現状で
あります。

答 小川は漏水しているため、復活させるということは考えていませんが、芝生化する案や、一体的に広場にする等の案を、行政事務改善委員会で検討しております。

問 結婚新生活支援事業補助金について、実績がなかつた理由は世帯所得が500万未満という条件のためか。そもそも申込みがなかつたため、実績0件となりました。

總務課關係

建設水道課關係

問 地域福祉計画策定業務委託料300万円について、計画策定にあたり基礎資料は役場職員が作るのか、委託会社が作るのか。

問 ファミリー・サポートに析して参ります。

答 町民にアンケートを行い、業者の手助けも受けながら健康福祉課職員全員が担当し、収集・分析して参ります。

問 除雪体制について、高齢化、人口減少の中での厳しい状態だと思うが、現状について教えてほしい。

答 昔からオペレーターの確保が難しい状況であったが、近年、ベテランの引退、若手オペレーターの減少等もあり、より

成が必要であると考えます。過去助成事業で5人免許を取得しましたが、本人の都合により辞めた方もいらっしゃいます。途中で都度実地研修を行い育成を図つております。免許を取得した人は継続して携わつてほしいという思いはございますが、本人の都合もございますので、確保が難しい現状です。

住民生活課關係

問 クリーンセンターの管理人について、3月広報で管理人の募集をしていた。募集に対して、現在申し込みはあるのか。在申し込みはありません。

教育課關係

教育課關係

問 はちらほ補助金の2545千円の補助金の内訳は。

答 野菜の納品、弁当の配達、効果促進事業、事務局長の人事費、車の維持管理費となります。

問 はちらほ補助金の2545千円の補助金の内訳は。

答 野菜の納品、弁当の配達、効果促進事業、事務局長の人事費、車の維持管理費となります。

はちらばが存続する限りは、管理委託を行いたいと考えております。脱炭素事業についての内容はこれから決定するが、実際はどの位進んでいるのか。

問 指定管理の目的は住民サービスの向上と経費削減である。まちづくり活動センターに指定管理者制度を導入することによって、コストメリットはあったか。（指定管理費約1,100万円）

答 コスト減にはなつておりません。コスト削減については考えておりまないので、様々な方法で検討していくたい。

問 全体的な管理にそれほどかかるのか。

問 指定管理の目的は住民サービスの向上と経費削減である。まちづくり活動センターに指定管理者制度を導入することによって、コストメリットはあったか。（指定管理費約1,100万円）

答 コスト減にはなつておりません。コスト削減については考えておりまないので、様々な方法で検討していくたい。

問 全体的な管理にそれほどかかるのか。

A black and white photograph of a formal meeting in a conference room. A long table is set with papers and glasses. On the left, a row of men in suits are seated, facing right. On the right, a row of women in business attire are seated, facing left. The room has a large window in the background.



問 旧小学校遊具撤去について、どの程度撤去するのか。まだ使用されてる遊具なのですが、今後の旧校舎利活用の関係もあっての撤去か。利活用のこともあります。

が整えられれば、より良いスポーツ環境の整備へ近づくのではないかと、いう感じがします。令和7年度は、そういうことも含めながら進めていかなければならぬ、と思いま

問 指定期間内に結果が
費になります。

陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	本会議結果	付託委員会
1	令和7年1月14日	陳情	東京都八王子市	伊藤 豪	議会の審議においてどの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかがわかるような図を作り、自治体ホームページで公開することに関する陳情	採択	総務産業
2	令和7年1月14日	陳情	東京都八王子市	伊藤 豪	市民とともに「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情	不採択	教育民生
3	令和7年1月14日	陳情	秋田市	秋田市弁護士会 会長 石田 英憲	「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書採択に関する陳情」	賛成多数 反対： 村井 智 野原静雄 小林響騎	教育民生
4	令和7年1月20日	陳情	秋田市	秋田県労働組合総連合 議長 高野 智子 秋田県春闌共闘懇談会 代表委員 奥井 明子	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	反対多数 賛成： 野原静雄 小柳 聰	総務産業
5	令和7年2月3日	陳情	大館市	渡部 道正	デジタル・ベーシックインカム導入に関する意見書の提出に関する意見書	反対多数 賛成： 小野千春 小林響騎	総務産業

議会のうごき

1月

- 4日 消防出初式 (議長)
10日 湖東3町商工会新春賀詞交歓会並びに
永年勤続優良従業員表彰式
20日 例月出納検査 (監査委員)

2月

- 4日 合同厄祓い・還暦祝 (議長)
17日 第1回臨時会
議会全員協議会
11日 スポーツ賞授与式・スポーツ講演会
12日 秋田県町村電算システム共同事業組合議会定例会(議長)
秋田県町村議会議長会理事会 (議長)

18日 例月出納検査

(監査委員)

19日 南秋田郡議長会連絡協議会

3月

- 4日 議会運営委員会、議会広報編集委員会
5日 議会全員協議会
6日 八郎潟町婦人会総会 (議長)
10日 議会定例会(19日まで)
21日 八郎潟周辺清掃事務組合議会
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
例月出納検査 (監査委員)
24日 議会広報編集委員会
26日 湖東地区行政一部事務組合議会
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会例月監査

◆議会広報編集委員会 委員長 副委員長

柳田 小野 松田 伊藤 小柳 野原 野原
裕千春 真寿美 章 鉄秀 静雄 (野原静雄)

今期の町議選が終わり、7人の新人議員にとつては、あわただしく過ぎた1ヶ月半余り、再選議員にとつても不慣れな多くの新人議員の指導でご苦労があつたかと思いますが、無事に「3月定例会」が終了しました。「議会広報編集委員会」も6名中5人が新人議員ということと、新しい目線で「議会だより」を考えようということを決めました。が、3月定例会の閉会から原ジュールの中で「議会だより」の見直しは今後、検討会を重ねながら、6月定例会のご報告(第164号)からという導と御鞭撻をよろしくお願ひいたします。

編集後記